

N

Nagoya Contemporary Art Posse 96

3.10(tue) - 3.22(sun) 2026

Nagoya Citizens' Gallery Sakae 8F, Exhibition Room 9

(a)Masahiro Asai / (b)Gakudai Kawasumi / (c)Riku Shitara / (d)Rutsu Miki / (e)MUTOS / (f)Yo Hibino



9

A

P

6

Nagoya Contemporary Art Posse 96

2026年 3月10日(火)-3月22日(日)

[火~土] 9:30-19:00

[日] 9:30-17:00

[月] Close

名古屋市民ギャラリー栄 8階 第9展示室

名古屋市民ギャラリー栄は開館35年を迎えました。アートと公共の在り方は今、大きな転換点にあります。私たちはその変化を未来への契機と捉え、企画展を重ねる中で新たな可能性を着実に拓いてきました。このたび創造の最前線を担う作家とともに始動するNCAPを通じ、この栄から未来へと広がる名古屋の新たな潮流を発信したいと考えています。誰もが最新のアートを体感できる場を、さらに確かなものにしてまいります。

名古屋市民ギャラリー栄館長 宮田健

エヌカプの視座

展覧会タイトルの「NCAP 96」とは、Nagoya Contemporary Art Posseの頭字語に代えて、本展の会場となる市民ギャラリー栄の第9展示室の9、続けて出品作家の人数を示す6を順に表記したものである。

まずは、本展の経緯について触れたい。昨年の2025年11月、私が企画した展覧会「3枚のRECORD展」の会場で、市民ギャラリー栄の館長である宮田健氏と話す機会があり、市民ギャラリー栄で次代を担うアーティストによる新しい展覧会を企画したいという思いを知らされた。後日、設楽陸とも宮田氏が伝説のアートフェアのようなイベントの構想を共有していたことを知り、愛知県瀬戸市にあるタネリススタジオにて、私を含めた3人で協議をおこなったところ、設楽と連携して展覧会を企画する運びとなったのだ。余談だが、設楽と私はタネリススタジオを作品制作の拠点にしている。さて、私たちから見た市民ギャラリー栄の印象は、認識こそしているものの、これまでの活動において直接的な接点がなかったため、会場に関する基礎知識を得ることから着手するとともに、企画案の手がかりを漠然と模索しなければならなかった。構想を練るプロセスのなかで、2人が注目したのは「NCAF (Nagoya Contemporary Art Fair)」の存在である。NCAFは、1988年に電気文化会館のギャラリーで始まり、1992年から名古屋市民ギャラリー(※2001年に名称を市民ギャラリー栄に変更)へ会場を移したの

ち、2003年まで毎年開催されていた現代美術のフェアとされる。とはいえ、私たちは世代的に当時のアートシーンを体感してはいない。NCAFについて調べるにあたり、当時のカタログを各自で購入して主な参考資料に用いた。そこには、名だたるギャラリーが名を運ね、錚々たる作家の面々が並び、惜越ながら名古屋のアートシーンにもこんな時代があったのかと、驚きと興奮を覚えたのであった。また、山村國晶氏(1988年の出品作家)から当時の貴重なお話を伺う機会にも恵まれ、同年のカタログをいただいたこともここに記しておきたい。

以上の概略を踏まえた上で、〈市民ギャラリー栄〉と〈現代美術〉という2つの点を結んで検討したときに、畏敬の念を抱きながらも、NCAFにタイトルを紐付けた案を提唱するまでに至ったのである。しかし、本展はあくまでも独立したグループ展なのであってフェアではないため、Fairの単語をPosse(仲間や集団を指す)に置き換えて「NCAP」とし、冒頭で述べた項目に繋がる。個としての私はいち作家に過ぎないが、本展が見据える視座としては、この名古屋の地において先人たちが拓いた肥沃な土壌を鑑みつつ、私たちなりの切り口をもってして、力のある作家同士が個性と個性を存分にぶつけ合えるような場を立ち上げるとともに、市民ギャラリー栄がより幅広い層に愛されるひとつのきっかけとなれば幸いである。

画家 MITOS

Artist

(a) 浅井雅弘 Masahiro Asai

美術作家

2012 名古屋芸術大学大学院 同時代表現研究領域 修了

2025 「あたかも/時/事」Empty Space(岐阜)

2024 「いつわりでざわり」TRANSIT GALLERY(愛知)

(b) 川角岳大 Gakudai Kawasumi

画家

2017 東京藝術大学大学院 美術研究科 修了

2025 「In the Atmospher, More Air」VOU / 棒(京都)

2023 「吹けば風」豊田市美術館(愛知)

(c) 設楽陸 Riku Shitara

画家、VRアーティスト

2008年 名古屋造形芸術大学 美術学科 総合造形コース 卒業

2025 「絵のたそがれ」Isharphardstrong(名古屋)

2021 「VOCA展2021 現代美術の展望-新しい平面の作家たち-」上野の森美術館(東京)

(d) 三木瑠都 Rutsu Miki

画家

2007 名古屋芸術大学大学院 美術研究科 同代表現領域 修了

2025 「OIL ART MARKET 2025」蔦谷書店(東京)

2024 「光を辿る」GalleryN(愛知)

(e) MITOS

画家

2008 名古屋造形芸術大学 美術学科 洋画コース 卒業

2025 「3枚のRECORD展」①タイムライト②テングヒ

さんの家・カセキさんの寺③綱領の秋④TANERI

Studio Gallery & Shop(愛知)②小出在所・常安寺(愛知)

③SUNSHINE UNDERGROUND CURRENT(愛知)

2022 「清須市はるひ絵画トリエンナーレ-アーティスト

トシリーズ MITOS展 静寂のリズム」清須市はるひ美術

(愛知)

(f) 曜日々乃 Yo Hibino

映像作家

2024 名古屋学芸大学大学院 メディア造形研究科 修了

2026 「Series "The Ceramical Parades" - やきもの中心主義 -」アートスペース[乃 - NANJI -](三重)

2025 「SAKAE FLASH FILM FESTIVAL」SLOW ART

CENTER NAGOYA(愛知)

Event

「名古屋現代美術古今断片座談会」

[日時] 3月22日(日) 15:00-16:00

[入場料] 500円(1Drink付き)

[定員] 30名(事前予約可)

登壇者

高橋綾子(美術評論家・名古屋造形大学教授)

宮田健(名古屋市民ギャラリー栄館長)

設楽陸(画家、VRアーティスト)

MITOS(画家)

会場

喫茶ニューフロリダ

(名古屋市民ギャラリー栄内)

予約・お問合せ

painter.mitos@gmail.com

名古屋市民ギャラリー栄

名古屋市中区栄四丁目1番8号 中区役所平和不動産共同ビル7・8階 Tel 052-265-0461

名古屋市民ギャラリー栄 名古屋市民文化振興事業団

